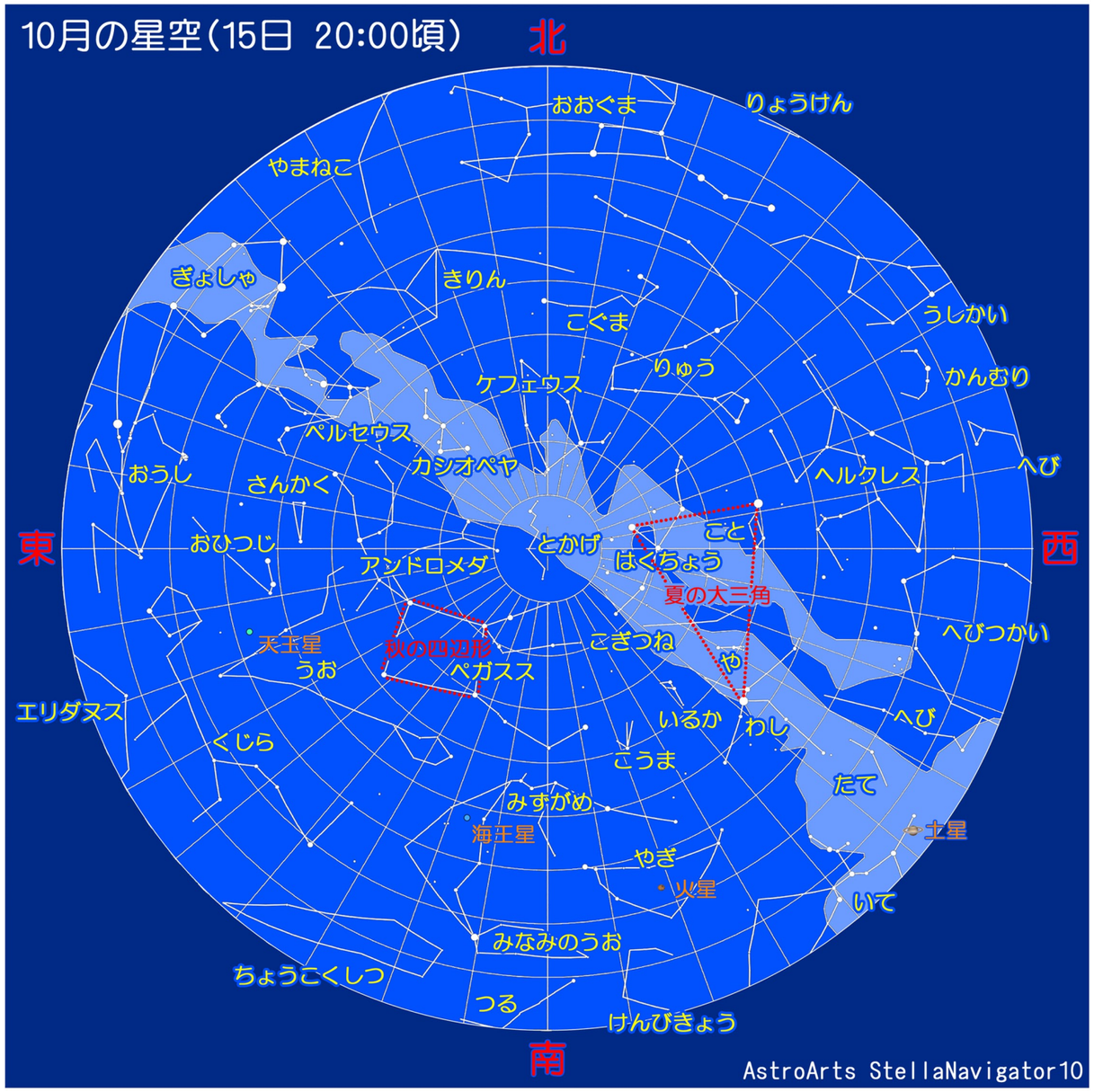
銀河の森天文台
2018年10月みどころ天体情報



月

		出	没
2日	下弦	22:01	12:32
9日	新月	05:03	17:20
17日	上弦	13:03	22:46
25日	満月	17:06	05:56

天文台から月を見ることができるのは12～28日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星

太陽系の外側から2番目の惑星、天王星がおひつじ座に見えています。淡いグリーン色が特徴で、小さく見えますが地球の約4倍の直径があります。

太陽からの距離：約29億km

M31（銀河）

有名なアンドロメダ銀河で、肉眼でも見ることができます。りくり望遠鏡では視野からはみ出してしまうほど大きく、全体を見るのであれば、双眼鏡を使うのが良いでしょう。

距離：約230万光年

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子に「星はすばる」と書かれているほど古くから親しまれてきた天体です。

距離：約410光年

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

ガーネットスター（重星）

ケフェウス座に位置する恒星で、非常に赤い色であることから、ウィリアム・ハーシェルによりガーネットスターと名付けられました。寿命を終えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ちょっとマニア

• NGC7009（惑星状星雲）

みずがめ座に位置する惑星状星雲で、その形が真横から見た土星に似ていることから「土星状星雲」と呼ばれています。不思議な形が魅力的です。

距離：約5000光年

その他おすすめ

- M2（球状星団）
- M27（惑星状星雲）
- M57（惑星状星雲）
- M76（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- NGC7662（惑星状星雲）
- フォーマルハウト（恒星）

今月のイチオシ！

☆海王星

太陽系で一番外側を周る惑星、海王星が見ごろを迎えています。地球から遠いためにあまり大きくは見えませんが、直径は地球の約4倍もあります。望遠鏡では淡い青色に見えるのが印象的です。主に水素、メタン、アンモニアから成る大気の下に、水、メタン、アンモニアから成るマントルがあり、天王星型惑星に分類されます。海王星に接近して観測を行った探査機は、1989年に最接近したボイジャー２号だけです。

太陽からの距離：約45億km

海王星

10・11月の銀河の森天文台カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	13	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日